

第3回老人デイサービスセンター指定管理者選考委員会議事録

1 日 時

令和3年11月11日（木）10:00～11:30

2 場 所

横須賀市役所本館3号館3階 301会議室

3 出席者

(1) 選考委員（敬称略）

横須賀市老人クラブ連合会会長	加藤 春樹
神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部教授	山本 恵子
横須賀市教育委員会事務局教育総務部教育政策課長	古谷 久乃
横須賀市民生局福祉部健康長寿課長	青木 則幸

(2) 事務局

健康長寿課 鏑木係長、尾山、安達

4 傍聴者

0名

5 スケジュール

別添次第のとおり

6 議事要旨

(1) 不開示情報に関する審議（非公開）

(2) 採点評価に関する意見交換

社会福祉法人湘南福祉協会

(3) 採点、集計

(4) 指定管理者候補の決定

（手順等）

- ・各委員から、応募団体に対する意見を、選考基準の大項目ごとに発表する。
- ・意見交換終了後、採点を行う。
- ・各委員から採点表を提出してもらい、事務局で集計する。
- ・集計の結果、鷹取老人デイサービスセンターについては、総配点910点満点の60%である546点以上を獲得した団体を選考する。
- ・団体ごとの評価は、市議会に対し資料提出するほか、横須賀市ホームページで公表する。

なお、鷹取老人デイサービスセンターの指定管理者候補は、次の団体に決定した。

横須賀市鷹取1丁目1番1号
社会福祉法人 湘南福祉協会
理事長 松藤 静明

採点評価に関する主な意見交換は次のとおり。

1 法令遵守

- ・法令遵守を基本に、情勢変化や制度改正を適切に反映していくとしており、模範的である。研修等を通し、実務でも徹底していくことを期待する。
- ・法令遵守及び個人情報保護等については、制度の整備や研修の実施があり、適切に運用できると考える。

2 施設管理

- ・仕様書に基づいて施設管理方針が立てられており、適切な事業運営を行える体制がとられていると考える。
- ・備品の更新等、メンテナンスを適切に行っている。

3 利用者への配慮

- ・感染症対策や衛生管理に関して各種計画を整備し、適切なサービス提供に努めている。定員に応じ可能な限り要介護度が高い方も受け入れていくとしており、評価できる。
- ・利用者アンケートを取り、業務に反映していることを評価する。継続して改善につなげていくことを期待する。

4 リスクへの対応

- ・感染症に対して、対策委員会の組織、指針やマニュアル、業務継続計画等の策定等により、非常時に備えている。
- ・災害に対する計画も策定されている。様々な想定の実施訓練を行い、一層対策に努めていくことを期待する。
- ・利用者や併設する小学校の児童に対し、安全に配慮した施設運営に取り組んでいる。

5 障害者及び男女共同参画への配慮

- ・法定雇用率を上回る障害者雇用実績があり、支援施設の物品を利用する等、障害者支援への配慮がみられる。
- ・法人における女性施設長の割合が6割以上であり、男女共同参画への積極的な姿勢がみられる。男女ともに活躍できる環境づくりを進めていくことを期待する。

6 地域貢献

- ・小学校との交流活動を進めていることを評価する。こうした活動が、次世代への財産継承や福祉人材の育成に繋がることを期待する。
- ・市内での人材雇用について目標を設置しており、市内中小企業への発注や市内団体との連携に取り組んでいることから、地域との連携を重視していると考ええる。

7 人員体制

- ・配置基準以上の人員配置があり、研修計画等による人材育成があることから、質の高いサービスを提供できると考える。
- ・法人全体での人事交流や育成があり、法人の強みを生かした人員体制を期待する。

8 市立の役割

- ・H A C C Pの考え方を取り入れた衛生管理、コロナ禍における感染対策や高齢者虐

- 待防止への組織的な取り組み等、他の模範となる先進的な取り組みがあると考えられる。
- ・民間施設では受け入れが難しい、要介護度の高い利用者について、市立として可能な限り受け入れを行っている。

9 人権擁護・利用者満足度

- ・利用者アンケートについて評価する。継続して改善につなげていくことを期待する。長期勤続者が多く、資質が高いと考えるが、慣れ等の危険性を排除することで、より良いサービス提供につながると考える。
- ・法人の基本理念として、人間の尊厳を守るとある。具体的には高齢者虐待防止委員会を設置し、職員の意識向上に努め、研修を実施している。

10 地域との協調

- ・町内会、民生委員、地域団体等との連携を十分意識した提案があり、取り組みに期待できると考える。
- ・関連団体と連携し、地域の財産やインフラを次世代へ継承していくことを期待する。

11 安全性の確保

- ・マニュアル等を整備し、継続的に安全性の確保に努めていることを評価する。
- ・小学校児童の安全確保のため、学校と丁寧に連絡を取り合うとしていることを評価する。

12 立地特性

- ・取り組みについては、仕様書に準じており標準的である。
- ・組織の母体が地区のハブ的な存在であり、知識や情報を複合的に活用し、高齢者福祉のあり方や文化の発展・継承につなげていくことを期待する。

13 指定管理者負担金

- ・指定管理者負担金の意義を理解した上で、実績も踏まえて、適切な金額を提示していると考えられる。

採点評価に関する委員長総評は以下のとおり。

市内の人材の雇用や市内企業への発注を優先するほか、地域行事への参加や、学校の諸活動との連携を重視している。今後も地域貢献や地域との協調に取り組んでいくという提案は、実績に基づいており、評価する。

障害者の法定雇用率を達成し、授産施設等からの物品調達も行っている。施設責任者に占める女性職員の割合も高い水準にあり、評価できる。

災害、感染症等に対応した計画を策定しており、利用者や学校関係者の安全に配慮している。利用者アンケートを実施して業務改善に活用しており、サービスの充実に努めている。さらに、要介護度の高い利用者も可能な限り受け入れるという提案は、市立施設の役割という面からも、評価できる。

これまでの管理実績から、信頼性や、適切なサービス提供が担保されている。地域の法人としての強みを生かし、利用者や地域へのさらなる貢献のための努力を期待する。